

京都市交響楽団

広上淳一のタクトが舞う! 「交響的舞曲」
芳醇な美が香り立つ、五嶋龍のコルンゴルト



©Masaaki Tomitori



©E.Miyoshi

第635回定期演奏会

The 635th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2019

6/21 金

午後7時開演 (午後6時開場)

京都コンサートホール

Friday, June 21, 2019 / 7:00PM
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前 (午後6時30分ごろから) は指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約) をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2019年6月14日までに京響075-711-3110へお申し込みください)

◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

指揮 広上 淳一

(常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)

Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Music Advisor)

ヴァイオリン 五嶋 龍

Violin: Ryu Goto

ヴェルディ: 歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲

コルンゴルト: ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.35

ラフマニノフ: 交響的舞曲op.45

Verdi : Overture from Opera "The Sicilian Vespers"

Korngold : Concerto for violin and orchestra in D major op.35

Rachmaninov : Symphonic dances op.45

ブレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード133-258
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード52524

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。

◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京都市交響楽団

第635回 定期演奏会

The 635th Subscription Concert
of the Kyoto Symphony Orchestra

広上淳一の指揮により、ドラマティックなヴェルディのオペラ序曲と、哀愁と濃厚な抒情にあふれてリズムが舞い躍るラフマニノフ最後の作品「交響的舞曲」を。ニューヨークを拠点に世界で活躍するヴァイオリニスト五嶋龍は18年ぶりに京響定期へ！映画音楽の作曲家としても知られるコルンゴルト独特の、厭世的な空気を滲えた、甘美で華麗なるヴァイオリン協奏曲の名作を聴かせます。

指揮

広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)

Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Music Advisor)



Photo : Greg Sailor

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。1991～95年にはノールショピング交響楽団、1998～2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、1997～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、1991～2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。2006～2008年米国コロンバス交響楽団の音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともにチャイコフスキーの録音も残し、その実力を内外に知らしめた。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、ボルティモア響、シンシナティ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放送響、スロヴェニア・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、サン・パウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でも1989、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では、新国立劇場《椿姫》、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。

ヴァイオリン

五嶋 龍

Violin : Ryu Goto



©Ayako Yamamoto/UMJLLC

ヴァイオリニスト五嶋龍は、7歳でパシフィック・ミュージック・フェスティバルにて、パガニーニのヴァイオリン協奏曲第1番を演奏し楽壇デビュー。幼い頃から多くのメディアで取り上げられ注目を集めてきたが、今日その活動は世界屈指の芸術家たちの演奏活動にとどまらず、教育活動・国際文化交流・社会貢献活動をグローバルに展開し、また空手家としての顔も持つ。これまでにワシントン・ナショナル交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、モントリオール交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ハンブルク交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ウィーン交響楽団、フランス国立リヨン管弦楽団、シドニー交響楽団、上海交響楽団、NHK交響楽団などの著名オーケストラと、指揮者では、ロリン・マゼール、ウラディーミル・アシュケナージ、チョン・ミョンファン、レナード・スラットキン、ケント・ナガノ、ファビオ・ルイジ、タン・ドゥン、エリアフ・インバル、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデンらと、器楽奏者では、ミッシェル・マイスキー、チョン・ミョンファンなどと共演。現在の演奏家の使命である社会福祉として、ニューヨークでは同市教育委員会の協力のもと「五嶋龍 “Excellence In Music” (音楽優秀賞)」を通じて公立高校生に奨学金を授与する活動に加え、南米・アフリカ・アジアなどの各国、また日本政府から招聘され、演奏活動とともに、文化交流、相互理解を深め、現地の人々、子供たちに夢を与え続けている。2017年後半には日本各地の学生オーケストラとの共演、リサイタルでproject R “拉致被害者を忘れない。”の啓発、チャリティー・コンサートを企画・出演。一貫してメディアなどを通じ、社会への発信力・求心力を発揮している。メディア露出としては、ドキュメント番組「五嶋龍オデッセイ」(フジテレビ、1996～2005年)、「題名のない音楽会」(テレビ朝日系列、2015～2017年司会)ほか、JR東日本、ユニクロ、エアウィーヴのCMに出演。録音はドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、ユニバーサルクラシックスよりリリース。使用楽器は日本音楽財団より貸与された1722年製のストラディヴァリウス「ジュピター」。ハーバード大学(物理学専攻)卒業。公益社団法人日本空手協会参段。日英仏中語が堪能。ニューヨーク生まれ・在住。公式ウェブサイト<https://www.ryugoto.com/> Twitter: @RealRyuGoto

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上嘉和

2019 4/12(金)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2019 5/18(土)から発売!

第636回定期演奏会

高関健が描く「わが祖国」全曲
チェコ音楽の父スメタナの壮大なる抒情詩

日時: 2019年7月27日(土) 午後2時30分開演
2019年7月28日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール
指揮: 高関 健 (常任首席客演指揮者)
曲目: スメタナ: 連作交響詩「わが祖国」



©伊藤菜々子

第637回定期演奏会

ダイクストラ指揮ハイドン「天地創造」
神による世界の始まりを歌で綴る荘厳な音絵巻

日時: 2019年8月25日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール
指揮: ペーター・ダイクストラ
独唱: 盛田 麻央 (ソプラノ) 櫻田 亮 (テノール)
青山 貴 (バス)
合唱: 京響コーラス
曲目: ハイドン: オラトリオ「天地創造」 Hob.XXI:2



©Astrid Ackermann

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)